



メールマガジン No.1 (2025)

[NPO 法人 海の環境と生物資源研究会 さくらえびラボ]

沿岸生態系ニュース

COASTAL ECOSYSTEM NEWS

理事長あいさつ：海と生物資源への科学的理解と素養を育てよう

(Greeting from the director : Learn more about science of ocean & biological resources)

国内では、駿河湾のみで漁獲されるサクラエビは「駿河湾の宝石」とも呼ばれ、貴重な水産資源であるのみならず、海洋生態系の食物網の基礎であり、多くの海洋生物の餌にもなる重要な生物です。しかし、2018年以降急激な漁獲量の減少にみまわれ、漁業者、加工業者、関連小売業者、さらには地域経済にも深刻な影響を与えました。不漁の原因を解明し資源の再生を目指すべく、2020年には静岡大学研究者および有志による「サクラエビ再生のための専門家研究会」が発足し、大学と由比港漁業協同組合および静岡県サクラエビ漁業組合による共同調査および生態研究が進められてきました。

サクラエビの生物資源の回復を目指すべく、私たちは2020年以降、静岡大学においてサクラエビの群れの解析（体長、体重、性比等）、駿河湾の海水温と光の条件、サクラエビの餌となるプランクトンの動態、植物プランクトンの増殖に必要な栄養塩の分析を定期的に行ってきました。またサクラエビの産卵から人工飼育養殖技術開発の研究や、海洋生物に影響を及ぼす可能性のあるマイクロプラスチックの調査研究を進めています。

駿河湾だけでなく、沖縄や海外でのサンゴ礁やマングローブを始めとする沿岸生態系の調査研究を静岡大学において長年進めて来ました。この実績を本法人は継承し、日本の沿岸域の海洋温暖化、海洋酸性化、海洋汚染（マイクロプラスチック、PFAS、油等）等の問題にも取り組んでいきます。駿河湾やサンゴ礁の海洋環境を科学的に調査すると共に、様々なステークホルダーとその情報・知見を共有し、環境保全とサクラエビやサンゴを始めとする豊かな水産資源を守るために持続的な活動を継続します。海や環境問題に立ち向かい解決する力を、科学的知見と素養に基づき進めて行きます。多くの人の賛同と参加をお待ちしています。

理事長 鈴木 款

NPO の目標 (Targets of the NPO)

SDGs 14 の「海の豊かさを守ろう」という目標を実現するために、駿河湾および関連海域の海洋環境と生物資源・生態系を調査し、気候変動・温暖化や人間活動による影響下で、過去から未来に渡って、どのように海洋環境が維持されているか調べます。特にさくらえびと生物資源の持続性について、科学的なデータを基に、解析をし、市民と共に推進し、未来への新たな希望を提言し、豊かな駿河湾を目指します。科学的素養に基づく「市民科学」を推進します。

事業内容 (Business details)

- 1 駿河湾および沿岸生態系（サンゴ礁・マングローブ・海草群落等）の調査。
- 2 駿河湾サクラエビを含む生物資源・生物資源・生態系の調査。
- 3 サクラエビやプランクトン・微細藻類等の人工養殖の技術の確立。
- 4 水圏(海洋・河川等)生物の生活環境のモニタリング。
- 5 海洋におけるマイクロプラスチックなど人為的汚染物質と生態系への影響調査。
- 6 駿河湾や沿岸生態系によるブルーカーボンの促進。
- 7 会員及び市民向けに情報を発信し、セミナーを実施する。
- 8 小学校から大学までの体験学習の推進。
- 9 WEB にて法人の活動やニュースの発行。
- 10 その他、この法人の目的を達成するために必要な活動。

組織概要 (NPO overview)

組織名：非営利活動法人 海の環境と生物資源研究会 さくらえびラボ
(英語表記: Marine Environment and Resources: Sakuraebi Lab)

事業所：静岡県静岡市葵区七間町 3-4、七間町ハイム 701

E-mail; info@sakuraebilab.org, TEL: 054-333-9544

創立：2025 年 1 月 2 3 日

所管庁：静岡市

会費：正会員, 2,000 円 (10 月より翌年 9 月末まで)。

賛助会員、一口 3,000 円 (10 月より翌年 9 月末まで)。

理事長：鈴木 款 (すずき よしみ、理学博士)

活動記録 (Activity records)

- 2024.12.5 NPO 法人・設立総会開催 (静岡市、Zoom meeting)。
- 2025.1.23 NPO 法人の創立。
- 2025.3.26 NPO 理事会開催 (静岡市、Zoom meeting)。
- 2025.5.20 駿河湾海洋調査 (船を用いた科学調査) を実施。
- 2025.6. 3 三保海岸ビーチクリーニング活動に参加 (静岡市)。
- 2025.6.12 NPO 設立交流会 (静岡市)。22 名の出席。
- 2025.7.8 三保・真崎海岸海洋プラスチック調査 (静岡市)。
- 2025.7.23 由比港漁協関係者との討論会 (静岡市由比)。
- 2025.8.19 「駿河湾環境」についての講演会 (Dr. Casareto, 静岡市)。
- 2025.8.23 「海洋環境変化」についての講演会 (鈴木博士, 静岡市有度地区)。
- 2025.9.20 メールマガジン「沿岸生態系ニュース」、第 1 号を発行。

活動計画 (Action plans)

2025.9.26 (金) マリンオープンイノベーション機構主催、三保ビーチクリーンに参加。
(三保内浜海岸、10:00～)。

2025.11. 由比沖、海洋調査を予定。

2025.11.15 (土) 「海ってなに？」展示会を開催。静岡市、ふじのくに地球環境史ミュージアム。13:00～17:00。プランクトン、さくらえび、マイクロプラスチックなどの展示。

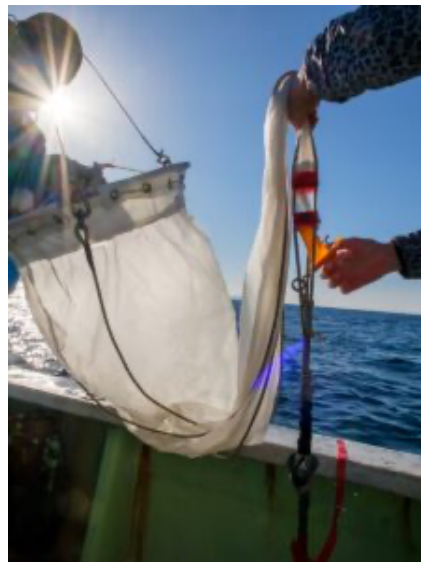
2025.11.13 (木) NPO 総会。14:00 より ZOOM 会議を予定。

2025.12.6 (土) ～2026.5.24 (日) 企画展「サクラ×さくら」に企画参加。静岡市、ふじのくに地球環境史ミュージアム。駿河湾、さくらえびについての展示。動画の上映。

2026.1.25 (日) 講演会 「サクラエビの「今」を探る」。静岡市、ふじのくに地球環境史ミュージアム。13:30～16:30。カサレト・ベアトリスほかの講演。



海中の温度、塩分の測定。



海中プランクトンの収集。

事務局より (From the office)

この NPO 法人の活動や入会の問い合わせは、info@sakuraebilab.org, までお願いします。

発行日：第 1 号、2025 年 9 月 20 日

発行者：非営利活動法人 海の環境と生物資源研究会 さくらえびラボ

住所：420-0035 静岡市葵区七間町 3-4、七間町ハイム 701

E-mail; info@sakuraebilab.org URL : <https://sakuraebilab.org/>
